



福田 昌弘【所長】
(ふくだ まさひろ)

久しぶりに読書♪

レンタル便り1月号で、スタッフの波田野が「読書がもたらす様々な健康効果」的なことを書いていましたが、久しぶりに読書しようかなと素直に思いましたので、ここ最近読書に励んでおります。昔から、ITが進んだ現在でも「本を読みなさい」「読書はしたほうが良い」と数々の著名人が言っているので、素直に読書は今後も続けたいと思っております。4,5年前ぐらいに読書にハマった時期があり、家にある文庫本を数えたら50冊前後ぐらいあったので、一度読了してまた再読したいと思った作品を今読み直しているの、次月号でご紹介できればと思います。



加藤 忠志
(かとう ただし)

いつの間にか

次男が通っているサッカーチームで以前からルービックキューブが流行っていて集中力が養えるから買ってほしいと希望があり、昨年9月に購入しました、初めは1面作るのがやっとだったのですが、意外と真剣に取り組み6面作ることができるようになったらゲーム用のヘッドホンが欲しいから買ってほしいと希望があり、1分以内でできるようになったらと約束したところ物欲とは恐ろしい…約束して1か月位で、できるようになり今では1分かつからずできるようになり、購入することになりました、今度は目標45秒でチャレンジ中です。おかげで？違う形で集中力が付きました。



尾上 亮
(おのうえ りょう)

おすすめ漫画

猫を飼っている(飼っていた)方なら、誰でも『あるある』と共感すること間違いのないのがこの漫画『うちの猫がまた変なことしてる。』です。本屋でたまたま見かけて、何となく買って見たらとても面白く、猫のしぐさとかも細かく表現しているので『ああ、これはうちの猫だけじゃなかったんだね〜』とか色々参考にもなります。これから猫を飼いたいと思っている人にも予備知識として知ることが出来るのでお勧めです。電子書籍として購入も可能ですが、自分は本として持っておきたい派なので、本屋で購入をしています。



現在、7巻まで出ています。



波田野 正
(はたの あきら)

買えたら幸運な大福!?

2月は暖冬の影響か、暖かい日が続きますね。ちなみに暖冬とは、12~2月の3か月の平均気温が平年より約0.5~1.0度高い場合の事らしいです。そんな話はさておき、皆さんは「立春大福」をご存じでしょうか？

老舗和菓子店の梅林堂では、2月2~4日までの3日間限定で「立春大福」を販売しています。餅は邪気を払うヨモギ、希少品種のもち米を使用しており、59年も前からロングセラーの人気商品だそうです！限定品に目が無い私もお昼頃にふと寄ってみました。残念ながら既に売り切れでした。来年は早朝から並ぼうかどうするか…皆様もぜひ購入してみたいかがでしょうか？

レンタルみくしのまち鴻巣をより裏面コラム しゅがーしゅむ

基本理念は しゅがーしゅむ

萌芽の候、来たる春の息吹が眼球と鼻の粘膜で嫌ツツツというほど感じられます折に、困憊極まる心身を幽けきながらも高貴なる御姿と薫香で包み癒したるものは…そうです、甘いものです！

写真は熊谷市の籠原に居を構えますカフェダイニングの『BASE Diner』さんの期間限定メニュー、『ベリーと生チョコのフォンダンショコラパンケーキ(¥990-)』です。紙面をご覧の皆様におかれましては、今年のバレンタインは如何お過ごしでしたでしょうか？惚れた腫れたの趨勢に一喜一憂する立場でなくとも、数多の企業ないし店舗が年に一度のお祭りにかこつけてここぞとばかりにチョコレート系のスイーツを繰り出す様にはほのかに心が暖くなるというものです。して、暖くなるということは熱が発せられていること、つまりカロリーが燃焼されているということなので、バレンタインのチョコはいくつ食べても良いということなんですねえ〜〜〜ッ!!!天才!!!! 戯言もほどほどに本題のパンケーキに触れていきますが、こちらのパンケーキは所謂スフレパンケーキと呼ばれるもので、メレンゲを多用する事で厚く焼き上げられ、しかして軽く滑らかなくちどけでとろけるような食感が特徴のパンケーキとなっています。そんな様な事前知識を脳裏に浮かべつ、お皿の上で悩ましげに身体を揺らすパンケーキを眺めてから(スフレパンケーキ、ホントに揺れます)いざ一口………は、儂いッ!?お口の中でしゅわっと溶けていくそれは、綿飴よりは現実味があるものの、かき氷よりも幽かな、まさしく泡沫のような口当たり。それでも『自分はパンケーキを食べたという』事実をつまびらかにするような濃厚な卵の風味が舌の上に確かに残っており、よもや食べ物に対して抱くとは思わなかった『儂い』という単語を想起させるファーストコンタクトでした。そんなパンケーキを面白がりつ不思議がりつしながら食べ進めていくと、二枚重ねのパンケーキの間から現れるのが濃厚なチョコソース。フォンダンショコラのお題目を果たさんとばかりに儂げなパンケーキに味の彩りを加えるチョコソースが、パンケーキの上に厚く盛られたクリームと混じり合い、パンケーキ本体の卵の風味とくちどけに合わせてスイーツとしての重厚さを次第にあらわにさせていきます。その上でやってくる生チョコレートとベリーのソースと果実のアクセントがまた鮮烈なこと!最初の一口から淡くも着実に積み上げられてきた卵の味のベース、その中にあるほんのりとした甘さと確かな深みに気づいた所で、満を持して齎されるめいっばいの甘酸っぱさとほろ苦さ…こ、これが初恋!?所謂ふりこ細工の心…!?風に舞った花びらが水面を乱すように愛という字を書いてみてはふるえていたあの頃みたいなアレ…!?!?思わず村下孝蔵さんの最強のリリックセンスが光る一曲が脳裏をよぎる、儂くも切ない、だけど確かにそこにあり、忘れがたい、そんなパンケーキでした。………パンケーキに対する感想として正しいのかなあ、これ?若干の湿り気を帯びた感想文になってしまいましたが、このパンケーキが食べられるこのお店は、他にもハンバーガーや生パスタ、ピザやグリルも美味しい、極めて居心地の良いお店です!ドリンクメニューのカフェモカやストロベリーラテもこれがまあ美味しいこと…! とかく、恋路のあれこれではなく花粉に涙させられる艱難辛苦の日々の合間に麗らかな心の在り方を思い出す素敵なお店を、是非…!



黒沢 紫雲
(くろさわ しゅん)

